鳥谷 尚子（メゾ・ソプラノ）

Shoko Toya (Mezzo-soprano)

武蔵野音楽大学を卒業後、2015年に渡欧してウィーン国立音楽大学で学び、満場一致の最優秀の首席で同音楽大学を修了した。

シェーンブルン宮廷歌劇場での《オレステ》フィロテーテ役でヨーロッパ・デビューを飾り、《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、《カルメン》のタイトルロール、《ナクソス島のアリアドネ》作曲家などを歌ったほか、コンサートでもモーツァルトやヴェルディの「レクイエム」、ベートーヴェン「第9」などのソリストを務めている。

（210字）